マシンにマッチした得意な鈴鹿
見事に予選2位を獲得!!

SUPER GT

AUTOBACS SUPER GT 2019 第3戦SUZUKA。悔しい結果に終わった第2戦から3週間、K-tunes Racingは心機一転、再び勝利に向けて再スタートしました。そのステージは、昨年チーム初勝利を飾った鈴鹿サーキットだけに、可能性は小さくありません。マシンもタイヤメーカーも、昨年から変わっていません。

ただし大きく違ってしまったのは天候でした。5月の最終週という時期は同じなのに、昨年は肌寒いほどの天候でした。それが今年は初夏を思わせる30度を超える気温になり、路面温度も50度を上回るほどにヒートアップしています。

その高い気温に対応するためK-tunes Racingは、予選でハードタイヤを使用することを決定しました。Q1もQ2も、同じハードタイヤです。高温下でも性能低下が小さく、耐久性が高いスペックを選んだわけです。

予選Q1、新田守男選手がステアリングを握り、コースインしました。ハードタイヤだけに、2周を使ってじっくりとタイヤに熱を入れる必要がありました。そして最初のアタック、

タイムは1分58秒639で、その時点では5番手のタイムをマークしました。トップタイムの＃5の1分57秒827に対して0秒788遅れ。さらにタイムアップを目指し、新田守男選手が続けてアタックに入っていきましたが、他車がクラッシュしてしまい、計測前に予選Q1は赤旗中断。再開されたものの、結局順位は変わらず、予選Q1を5位で突破しました。

続く予選Q2までのインターバルで、新田守男選手がマシンのわずかなアジャストを提案しました。それを反映させて、阪口晴南選手がコースインしました。そのタイムは1分57秒134！　新田守男選手のタイムを1秒505も縮めて、2番手をゲットしました。

トップの＃25HOPPY 86 MCの松井孝允選手にわずか0秒126差という僅差だっただけに、阪口晴南選手は残念そうな表情でしたが、見事な予選アタックで開幕戦以来の予選2位を獲得。好位置からのスタートだけに、決勝レースへの期待は大きく膨らんだ予選となりました。

2019 AUTOBACS SUPER GT Round3　SUZUKA GT 300km RACE
鈴鹿サーキット
2019年5月25日　天候：晴れ　路面：Dry

qualify

Po	No	Machine	Driver	Q1	Q2	Tire	WH
1	25	HOPPY 86 MC TOYOTA 86 MC / GTA V8	松井 孝允 佐藤 公哉	1'57.859	1'57.008	YH	
2	96	K-tunes RC F GT3 LEXUS RC F GT3 / 2UR-GSE	新田 守男 阪口 晴南	1'58.689	1'57.134	BS	20
3	5	ADVICS マッハ車検 MC86 マッハ号 TOYOTA 86 MC / GTA V8	坂口 夏月 平木 湧也	1'57.827	1'57.571	YH	
4	61	SUBARU BRZ R&D SPORT SUBARU BRZ GT300 / EJ20	井口 卓人 山内 英輝	1'57.746	1'57.587	DL	8
5	10	GAINAR TANAX triple a GT-R NISSAN GT-R NISMO GT3 / VR38DETT	星野 一樹 石川 京侍	1'58.863	1'57.609	YH	2

監督・選手コメント

©GTA

Team Director
影山正彦

去年とはコンディションが変わり、予選Q1大丈夫かな？　と思っていましたが、新田選手のガンバリで突破できました。決勝レースはやるべきことを淡々とやって、表彰台を狙いたいと思います。

©GTA

Driver
新田守男

タイヤの選択にずいぶんと悩みましたが、結果としてハードタイヤを選択し、それでも2位ですから、正解だったと思います。明日は最低でも表彰台！　という目標で決勝レースを戦いたいと思います。

K-tunes Racing についてのお問い合わせは
yushi_kamimoto@okay-toyopet.jp 070-7561-1454